

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム亀山
日付	平成17年2月8日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	老人保健施設での相談援助業務歴 5年 病院での認知症高齢者の看護・介護業務歴 17年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアを視野に入れた運営を実践しようとしています。 ・管理者並びに現場職員が熱意を持ちケアを向上させようという意識が高く感じられました。 ・入居者の生活背景をバックグラウンドアセスメント等で探り、ケアに個性を持たせようという努力がうかがわれました。 ・管理者並びに現場職員が研修や見学等について積極的に進めたいと考えています。 ・利用料金が比較的低料金で利用しやすくなっています。 ・医療的なバックアップがグループ内で得られます。
以上のことは良いと思われました。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットの玄関が鍵により施錠されている点は改善が必要ではないでしょうか。 ・リビング・ダイニングを中心に家庭的な雰囲気や不十分な点は改善が必要ではないでしょうか。 ・建物内に施設のような掲示物が多く見られた点は改善が必要ではないでしょうか。 ・地域との連携を模索が必要ではないでしょうか。 ・常勤職員が少なくパート職員が多く、かつ、パート職員の勤務実態が半日での勤務も見受けられ、その結果職員数が全体として多くなっているため、入居者との馴染みの関係を構築する上で困難性が高いのではないのでしょうか。 ・退職者が半年間で7名と多く、入居者の安定した生活を支えるという点では問題があると考えられます。 ・全体の印象として「施設的」印象が拭えません。理由として考えられることは、母体法人が大きく、その影響を強く受けているのではないのでしょうか。また、管理者をはじめ職員の多くが施設ケアを経験していることが影響しているのではないかと考えます。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>グループホームとしてターミナルケアを視野に入れた立ち上げ、運営を目指していました。また、亀龍園グループとして、地域の高齢者を包括的に支援していこうという理念を持たれていました。代表者としては将来的に特別養護老人ホームの建設を考えています。</p> <p>グループホームとしては、1階部分に併設でデイサービスセンターを持っており、このデイサービスセンターの特別浴槽をグループホームの入居者の一部の方が利用されており、重症度の高い利用者の入浴支援に利用していました。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>建物内の環境を家庭らしく工夫することが望まれます。特にリビング・ダイニングについては一つの大きな空間ではなく、少しずつ空間をやわらかく仕切るなどの工夫をして、変化のある空間づくりが望まれます。職員レベルでは、意識として家庭らしくしようと理解しており、少しずつ努力をされています。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>バックグラウンドアセスメント等を中心に、入居者の個人史を理解するように努力しており、本人の得意分野を生かす取り組みや、その人らしきが出るような関わりを重視しようという意識を管理者並びに職員が持っています。排泄介助等においても、羞恥心に配慮した関わりを重視している点等に、個人の尊重やプライバシーの保護等に意識が向いていることが感じられます。</p>		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>管理者並びに現場の職員は、ケア向上のため、各種の研修会や勉強会などに興味・関心が強く参加したり、他のグループホームへの見学等を行っているとの熱意あるお話しが聞けました。また、管理者と職員のコミュニケーションは良く取れている様子で、管理者の意向が職員にも良く伝わっているように感じられました。</p>		